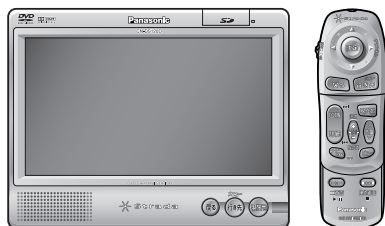


CN-DS120D



Panasonic[®]

取付説明書

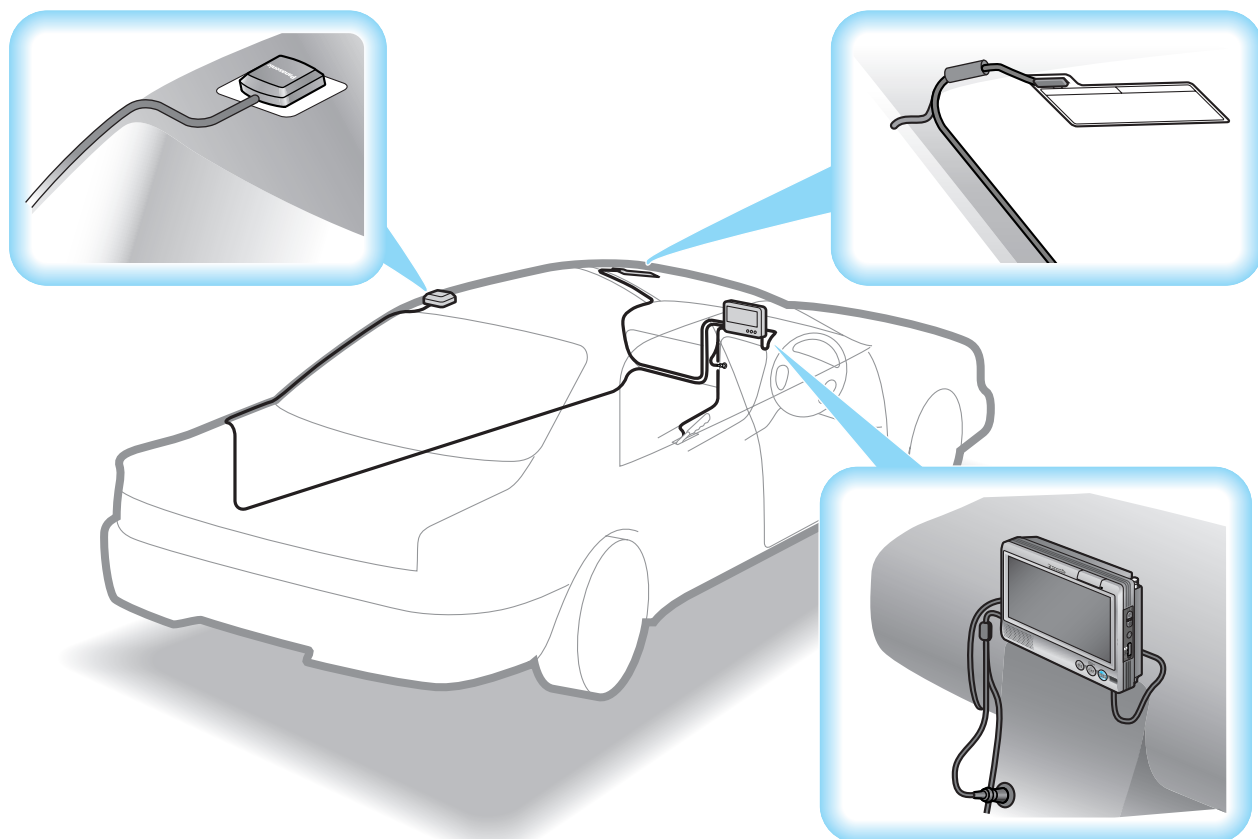
設置と接続

ポータブルDVDカーナビステーション

品 番

CN-DS120D
CN-D050D

SDカードスロット・
DVDビデオ再生機能付き



取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6～11ページ)を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へ
ご返却ください。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

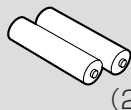
① ナビゲーション本体



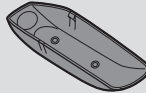
② リモコン*



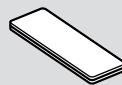
単3形乾電池



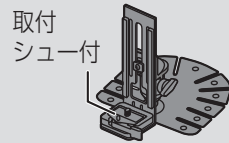
リモコンホルダー



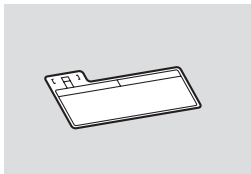
両面テープ



③ スタンド



④ TV・FM多重アンテナ

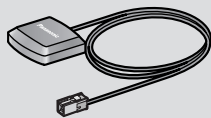


⑤ アンテナコード



(5.5 m)

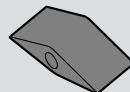
⑥ GPSアンテナ



(コード：6 m)

⑦ 防水ゴム

GPSアンテナ用



⑧ 保護シート

GPSアンテナ
車外取付用

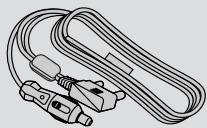


⑨ 金属シート

GPSアンテナ
車内取付用



⑩ 電源コード



(2 m)

⑪ コードクランパー

電源コード/TV・FM多重
アンテナ取付用



(5個)

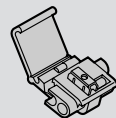
⑫ コードクランパー

GPSアンテナ取付用



(5個)

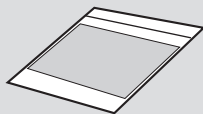
⑬ 圧着式コネクター



(1個)

⑭ クリーニングクロス

ディスプレイ用

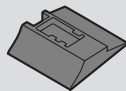


⑮ クリーナー

ダッシュボード/
TV・FM多重アンテナ用



⑯ 家庭用スタンド



⑰ タッピンねじ

スタンド取付用



(5個)

⑱ クッション材



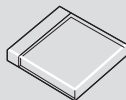
⑲ 作業用ヘラ



⑳ アース板保護シール



● 地図ディスク



● 基本操作ガイド

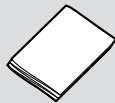


● 取扱説明書



● 取付説明書

本書



● 仮保証書兼ユーザー登録ハガキ



※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社 パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
お客様相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-1573

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM294192 F0306-0

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
(裏面)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(取扱説明書「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(裏面)

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤動作したり、動作しなくなる場合があります。

ナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に

ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付ける位置を確認してください。
貼りなおすと粘着力が弱くなります。

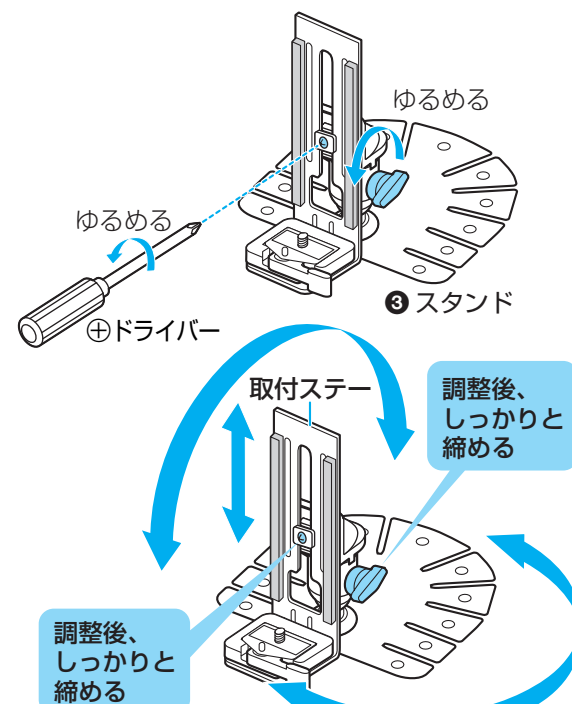
- 付属のダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

■ 取付位置について

- 指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。落下する原因になります。

- 貼付面全体が密着しないような強い曲面
 - 不安定な場所
 - 約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)
 - 垂直な面
- スタンドの破損に至る場合もあります。

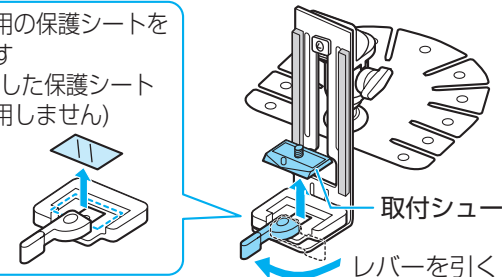
1 スタンドの向き・高さを調整する



2 ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認する

① 取付シューを取りはずす。

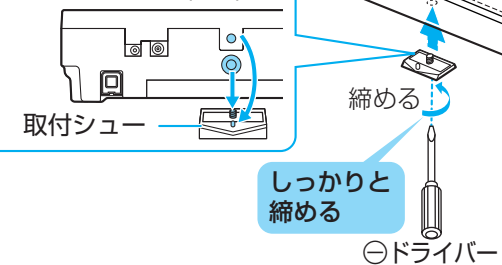
輸送用の保護シートをはずす
(はずした保護シートは使用しません)



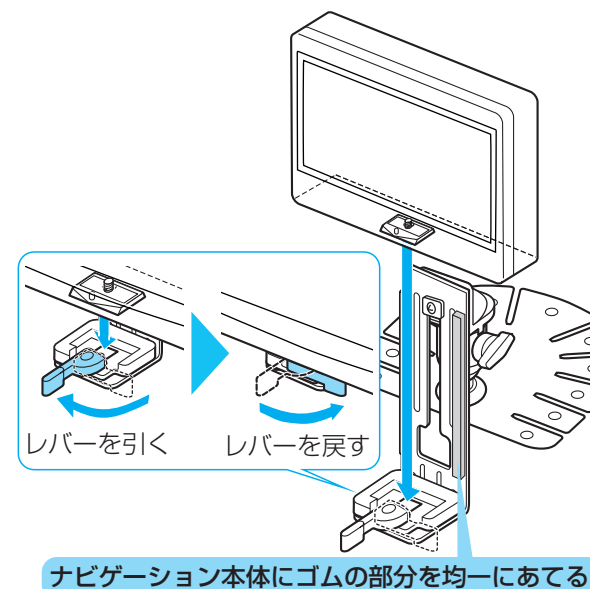
② ナビゲーション本体に取付シューを取り付ける。

ナビゲーション本体の穴を、取付シューの突起に合わせる。

① ナビゲーション本体(底面)



③ ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。

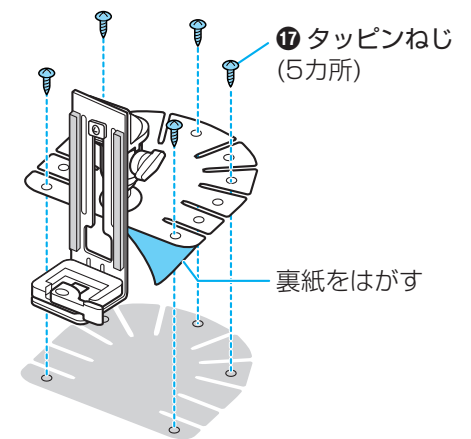


④ 高さや向きを確認してから、スタンドからナビゲーション本体をいったん取りはずす。

3 スタンドをダッシュボードに取り付ける

① スタンドをダッシュボードに取り付ける。

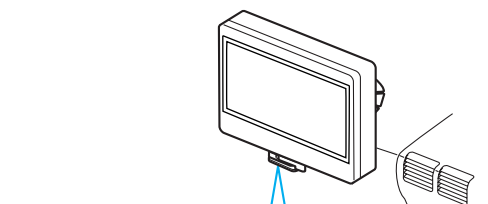
- スタンドを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。
- 安全のため、**付属のねじで固定**してください。
(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)



- 固定力を強くするため、ナビゲーション本体を取り付けずに24時間以上放置してください。
- 設置面(ダッシュボード)が平らでないときはスタンドをダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

24時間以上経過したら...

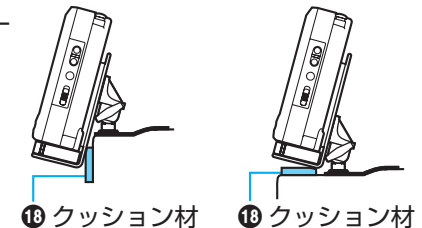
② ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。



ダッシュボードに取付ステーが近接するときは

- 振動でノイズが発生する原因になります。クッション材を貼り付けてナビゲーション本体を安定させてください。

－ 取付例 －



TV・FM多重アンテナの貼り付けかた

貼り付ける前に

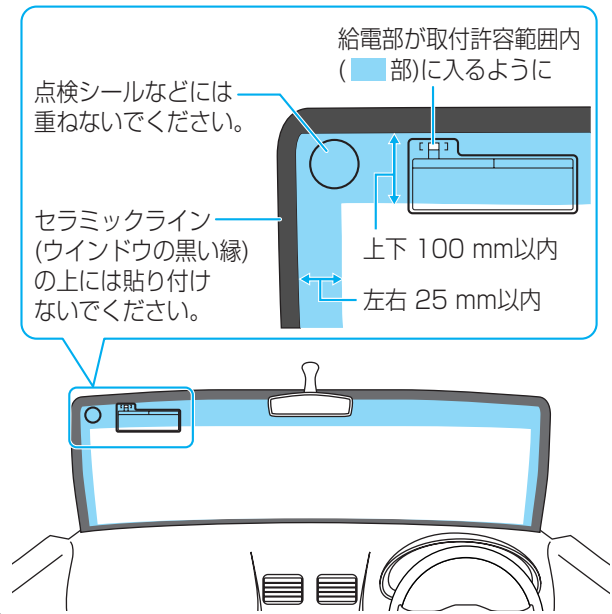
- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。ガラスの温度が低い状態でアンテナを貼ると、接着不良などによるはがれの原因になります。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置をご確認ください。(貼りなおせません)
- 付属のクリーナー(ダッシュボード/TV・FM多重アンテナ用)で設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 付属のTV・FM多重アンテナは、車内取り付け型の簡易アンテナです。電波の受信状態が悪く、テレビの映りやFM多重の受信がよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ(CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D)を使用してください。(※取扱説明書「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)

■ 取付許容範囲について

国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



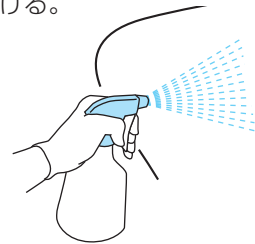
フロントガラスに貼り付ける場合(推奨)

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける

- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。

① アンテナを貼り付けるガラス面に霧吹きなどで均一に水を吹き付ける。

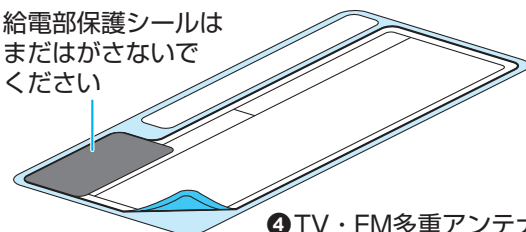
- 霧吹きなどで、車内側のガラス面に均一に水を吹き付ける。



② アンテナをはがし、ガラス面に貼り付ける。

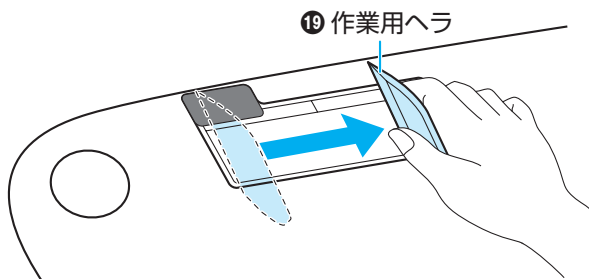
- 折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。
- のり面に触らないでください。

給電部保護シールはまだはがさないでください



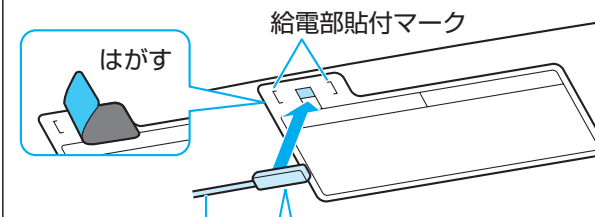
③ 作業用ヘラでアンテナの気泡を取り除いて、密着させる。

- アンテナ周辺の水を拭き取り、十分に乾燥させてください。(2~3時間放置する。)

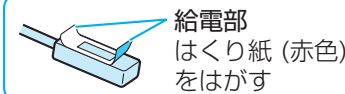


2 アンテナコードを取り付ける

① アンテナの給電部保護シールをはがし、アンテナコードの給電部をアンテナの給電部貼付マークに合わせて貼り付ける。

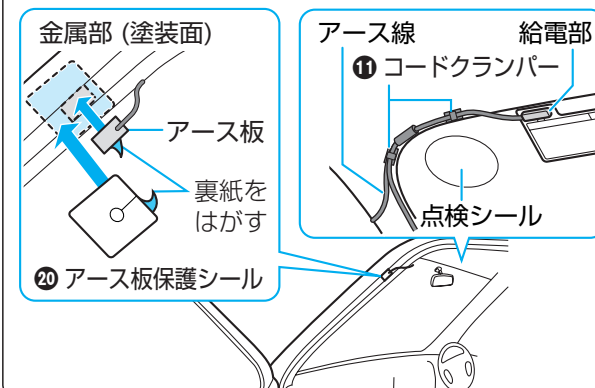


⑤ アンテナコード



② アース板を前席ドア内側などの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。

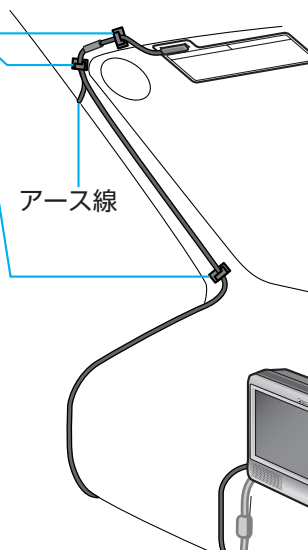


11 コードクランパー

給電部の近くを固定する



アース線



リヤガラスに貼り付ける場合

ハッチバックタイプの車は、リヤガラスに貼り付けることもできます。ただし、ウインドウの角度によっては、電波を受信しにくい場合があります。また、ハッチバックタイプ以外の車はアース板を配線しにくいいため、十分な性能が得られません。

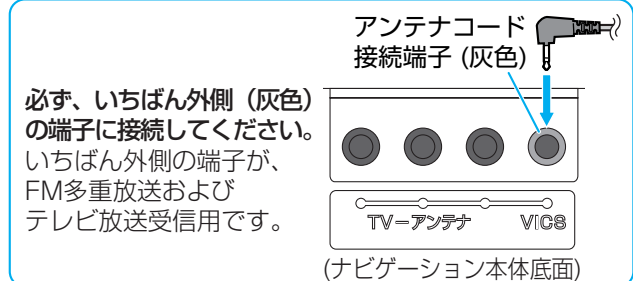
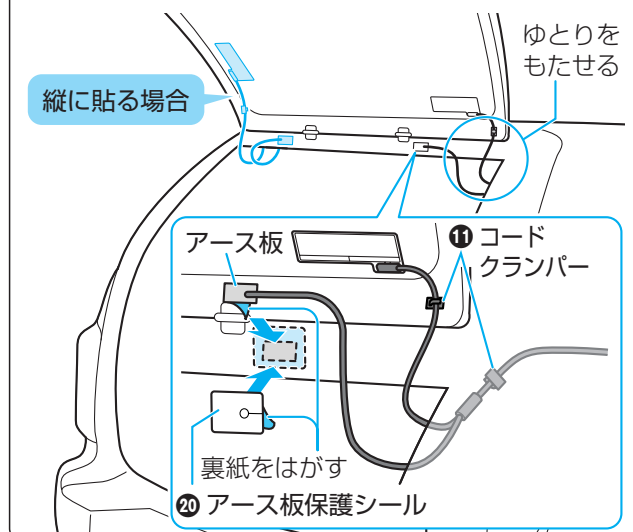
お願い

- リヤガラスにアンテナが内蔵されている場合は、電波が干渉するため貼り付けられません。お買い上げの販売店に相談してください。
- 熱線と重なる場合は貼り付けられません。(ショートや発熱の原因になります。)



■ 配線について

- ドアの開閉時でコードが引っばられないように、コードを余分にたるませて引いてください。



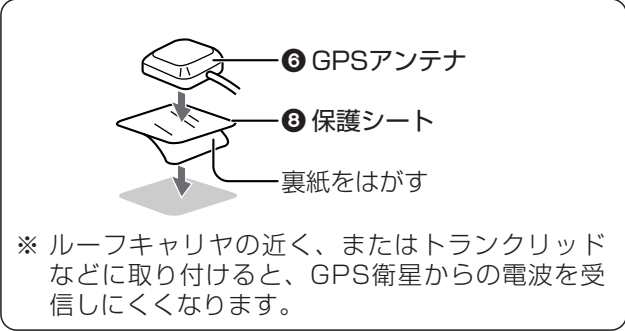
GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 取り付ける前に
- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
 - 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
 - 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける（推奨）

ループの平らな面に取り付けてください。



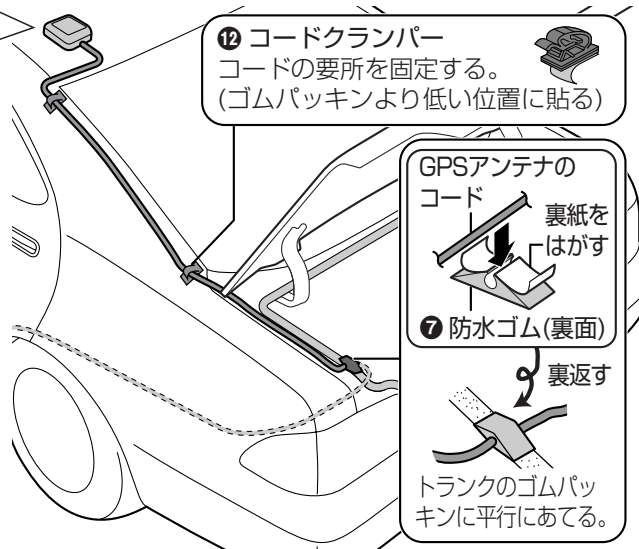
※ ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。
また、雪などが積もった場合は取り除いてください。
GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。
故障や傷つきの原因になります。

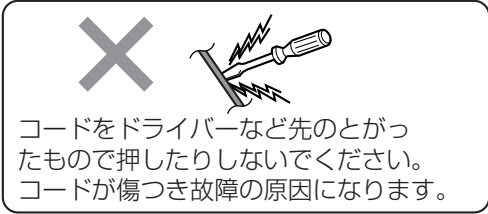
トランクに雨水が入らないように コードを引き回す。

- トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。
- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っ張られないように、コードを余分にたるませて引いてください。

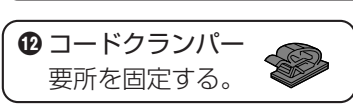


ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。



コードをドライバーなど先のとがったもので押したりしないでください。
コードが傷つき故障の原因になります。



お知らせ

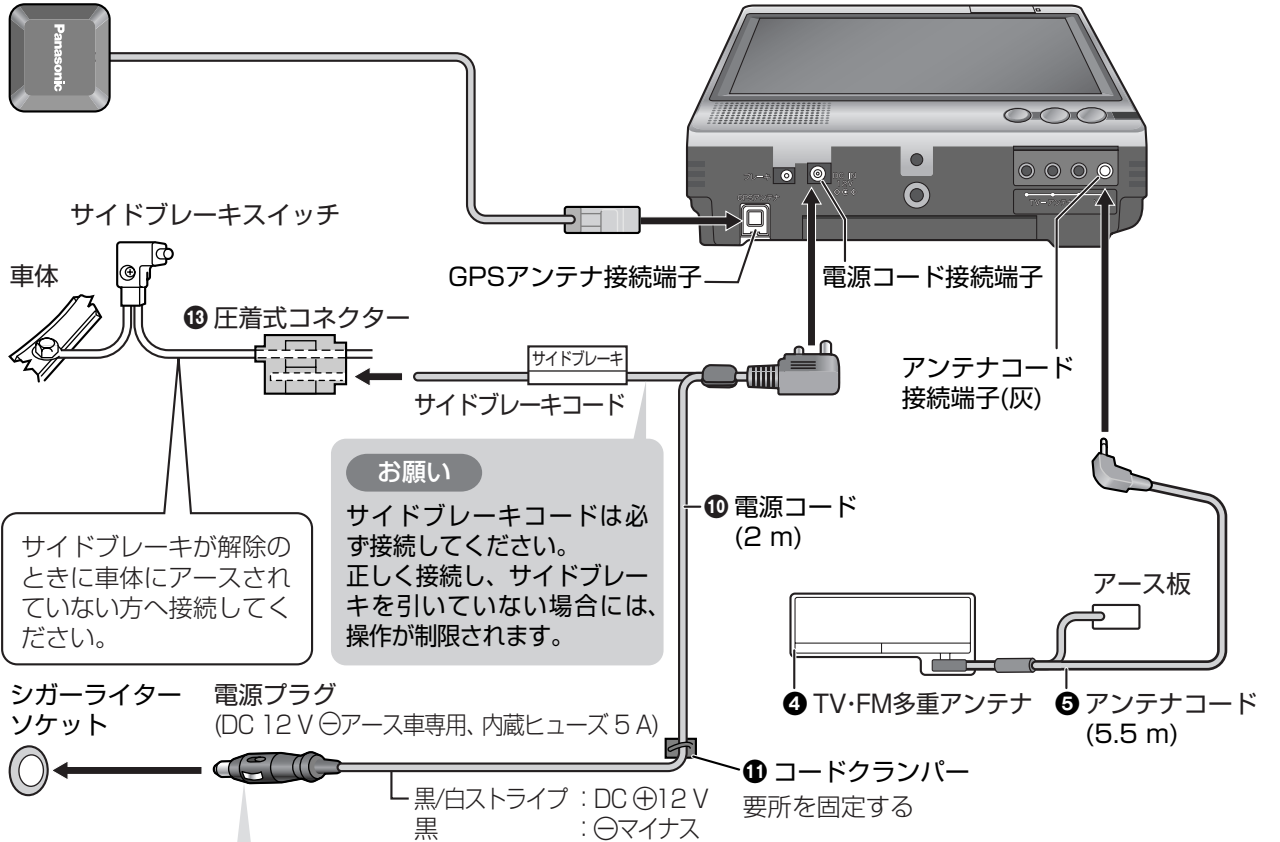
- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に相談してください。
- 自車位置の測位精度をさらに高めたいときは、別売の自立航法ユニット (CY-SG50D) を使用してください。

お願い

- 金属シートは、
 - ・ 必ず、付属の金属シートを使用してください。
 - ・ 折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

配線のしかた

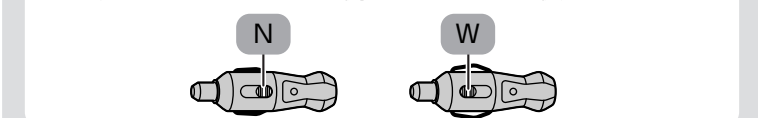
⑥ GPSアンテナ (コード 6 m)



- ソケットに巻いてある黄色の紙をはがし、警告文をよくお読みください。
 - シガーライターソケットの奥までしっかり差し込んでください。
(接触不良の原因になることがあります。)
 - 一部の車種では、電源プラグを差し込む角度によって、接触不良を
起こしたり、通電しなくなる場合があります。
- そのときは、シガーライターソケットの
端子の位置を確認し、電源プラグを
通電する角度に調整してください。
- 

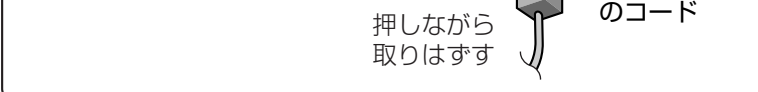
スライドスイッチについて

ほとんどの車はN側で使用できますが、欧州車などソケットの口径が大きい場合は、W側に切り替えてお使いください。

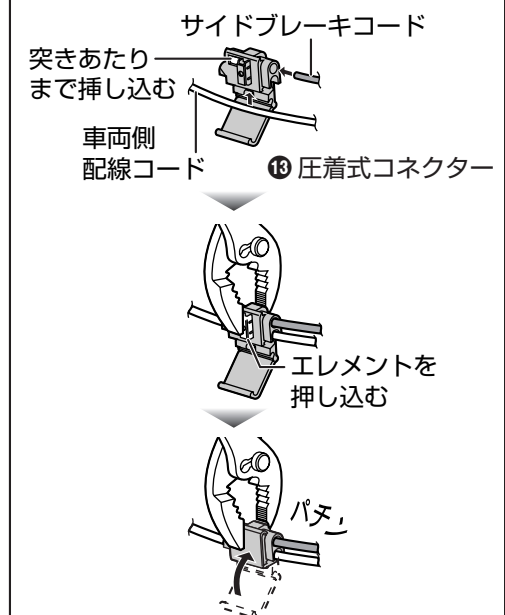


ロック付きコードの取りはずしかた

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。
-  ⑥ GPSアンテナ



圧着式コネクタの取り付けかた



お願い

- 24 V車用DC・DCコンバーターは使用しないでください。

取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

1電源を入れる

1ナビゲーション本体をスタンドから取りはずし、ディスクを入れる。

①電源を切った状態でを押す。

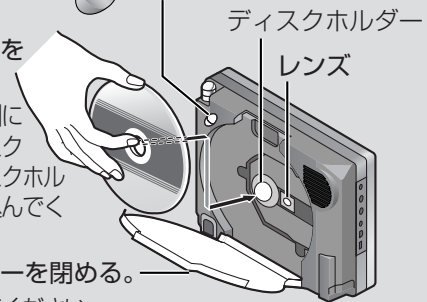
②地図ディスクを入れる。

- 印刷面を外側に向け、ディスクの穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

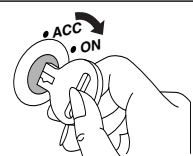
③ディスクカバーを閉める。

- 確実に閉めてください。

- レンズおよびその周辺には絶対に触れたり汚したりしないでください。
- 本機の動作中に、ディスクカバーを開けないでください。



2車のエンジンをかける。またはACCに入れる。



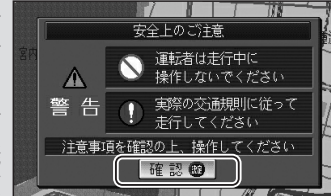
3ナビゲーション本体の電源スイッチを「入」にする。



(右側面)

4注意事項を確認して、**確認**にタッチする。

- オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
- オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。



5見通しの良い場所でGPS信号()を受信していることを確認する。(取扱説明書「準備・確認」)

- GPSマークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。



2車両信号を確認する

1を押す。



2**情報・設定**→**システム情報**にタッチする。



3**車両信号情報**にタッチする。



4確認する。



車両信号情報画面

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース	別売のリアビューカメラ(CY-RC50KDなど)を接続※している場合、シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12 Vになっていますか？

※接続には、別売のリアビューカメラ接続ケーブル(CA-LRC10D)が必要です。

●手順3で**拡張ユニット情報**を選ぶと**拡張ユニット情報画面**が表示されます。



3拡張ユニット・SDメモリーカードを確認する

■別売の自立航法ユニット (CY-SG50D) を接続している場合

車両信号情報画面を表示する。(左ページ)



①**パルスリセット**にタッチして、「車速パルス」をリセットする。同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」もリセットする。

②現在地画面を表示させ、平均時速20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分以上)走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」を確認する。

車速パルス※	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル3が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

お知らせ

- 自立航法ユニットを本機に接続していない場合は、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」をリセットできません。([未接続]と表示されます。)
- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」をリセットしてください。
 - 別の車に本機を載せかえた
 - 違うタイヤに交換した
 - タイヤをローテーションした
 - 自立航法ユニットを移動した場合
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。

不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。

■拡張ユニットの接続やSDメモリーカード(CN-DS120Dのみ)の挿入を確認する

拡張ユニット情報画面を表示する。(左ページ)



(画面例：CN-DS120D)

メモリーカード(CN-DS120Dのみ)	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット※1	別売のVICSビーコンユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
ジャイロユニット※2	別売の自立航法ユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
リアカメラ※3	別売のリアビューカメラを接続※4している場合、ON表示になっていますか？

※1 CY-TBX55D ※4 接続には、別売のリアビューカメラ接続ケーブル(CA-LRC10D)が必要です。
※2 CY-SG50D (2006年3月現在)
※3 CY-RC50KDなど

■FMトランスミッター機能(CN-DS120Dのみ)を確認する

FMトランスミッターを使用する場合は、「本体スピーカー出力」を「ナビ音声専用」に設定してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)

①FMラジオの受信周波数をFM76.0 MHzに合わせる。

②テレビ画面に切り替える。

③テレビの音声はFMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認する。

●本機の取り付け位置や車のFMアンテナの位置によっては、FMトランスミッターが受信しにくく、音声が雑音が入る原因になります。

お願い

- FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)
- FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオ、FMトランスミッターの音声が雑音が入る原因になります。